

## 令和8年度地域創生総合支援事業(サポート事業)執行計画書(市町村枠)

(単位:千円)

番号	新規・継続	共通採択方針			事業名	事業主体 (市町村)	事業区分 (ハード/ソフト)	事業費	補助金 決定額 (案)	事業概要	実施時期	実施場所 (市町村及び場所)	備考
		重点		個別 テーマ									
		人口 減少 対策	過 疎 中										
(県北地方振興局)													
1	新規	○		人づくり	だて探求カレッジ事業	伊達市	ソフト	1,488	1,115	若者の都市部への流出や地域の担い手不足などが課題となる一方、若い世代を中心とした地域貢献意欲の高まりがみられる現状を踏まえ、首都圏及び地元の学生が地域活動に主体的に取り組む事業を実施し、関係人口の創出や若者ならではの視点による市の魅力発見等を図る。 ①地域活動に関して設定したテーマ(※)に沿ってフィールドワーク等を通し、学生主体の企画立案を行う。 ②SNS等による活動・市の魅力発信 ※想定テーマ ・市の農産物や特産品を使った魅力の発信 ・交流施設「U-プレイス伊達」、お試し居住施設「Nextプレイス」を拠点に地域資源を活用した賑わいづくり	R8.4.1～R9.3.31	伊達市	
2	継続3	○		人づくり	地域の魅力体験合宿事業	伊達市	ソフト	7,648	5,415	若者の流出が多い現状を踏まえ、伊達市内の小学校5年生を対象に、通学合宿の形で共同生活を送る機会を提供し、自立心・自主性を育むとともに、地元の食や文化の体験を通し、地域への愛着醸成と地域づくりに関わる人材の育成を図る。 ①2泊3日の宿泊学習 ②地元食材を活用した調理実習、食育セミナーの実施 ※地域ボランティアとの交流含む ③地域の歴史・文化体験 ④家庭教育との連携(保護者アンケート等)	R8.4.1～R9.1.31	伊達市	
3	継続3	○		人づくり	未来へつなげる 国際交流都市もとみや発展プロジェクト	本宮市	ソフト	27,515	10,000	人口減少が進んでいることを踏まえ、市内の小中学生を対象に英国との交流事業等の機会を設け、国際社会で活躍できる人材を育成するとともに、教育環境の充実により子育て世帯の移住・定住の促進を図る。 ①市内中学生を対象とした国際交流推進事業(英国訪問、英国訪問OB交流会、ロンドン派遣市職員等との英会話交流サークルなど) ②本宮市内小中高校生を対象とした国際理解促進事業(国際理解講演、英国文化体験、国際交流員との交流 など)	R8.4.1～R9.3.31	本宮市	
4	継続2	○		交流・関係人口	奥州こおり宿楽市・楽座事業	桑折町	ソフト	9,471	7,103	桑折町の交流人口(観光客入込数)は、令和5年度において約10万人に留まっており、コロナ禍前の水準に回復していない。 そのため、従来の地域資源を活用した取組に加えて、県内外から観光客等が集まり交流を図れるイベントを実施することで、交流人口の拡大や地域活性化につなげる。 ①福島(桑折)、宮城、山形のご当地グルメの販売ブース設置及び伊達氏ゆかりのイベントを開催 ②地元の学生等と連携したイベント企画・運営 ③町の伝統や文化を象徴する「祭り」に焦点を当てた、町民及び来町者が共に楽しめる企画の実施	R8.4.1～R9.3.31	桑折町	

令和8年度地域創生総合支援事業(サポート事業)執行計画書(市町村枠)

(単位:千円)

番号	共通採択方針				事業名	事業主体 (市町村)	事業区分 (ハード/ソフト)	事業費	補助金 決定額 (案)	事業概要	実施時期	実施場所 (市町村及び場所)	備考
	新規・継続	重点		個別テーマ									
		人口減少対策	過疎中										
5	継続2	○		交流・関係人口	国見町を巡る観光・消費活性化PR事業	国見町	ソフト	2,216	1,662	国見町は、少子高齢化・人口減少が進み、R4に過疎地域の指定を受けている。また、町内の滞在人口も少なく、町内事業者の経営環境は厳しい状況にある。そのため、町内での地産地消、町外からの顧客獲得の取組と併せ町内での周遊性を高める取組を行い、地域の観光や消費の活性化を図る。 ①国見町デジタルスタンプラリー(※) ②WEB媒体による情報発信 ③町の他事業や地域情報媒体を活用した情報発信 ※道の駅国見あつかしの郷を中心に町内の観光・商店等をつなぐスタンプラリー	R8.4.1～R9.3.31	国見町	
6	継続3	○		交流・関係人口	"ART×国見町"アーティストティブなまちづくり事業	国見町	ソフト	5,974	4,480	国見町は令和4年度に過疎地域指定を受けるなど、少子高齢化が進んでいる。そのため、国見町の新たな観光の目玉としてARTをテーマに、地域資源を活用したイベントを開催し、また、会場を複数箇所に設定することで町内周遊を促進し、関係・滞在人口の拡大を図る。 ①ARTを題材としたイベントの開催 ②写真・動画を活用した町の生活等のSNS発信 会場:アカリ(藤田駅前)、藤田商店街、旧小坂小学校、松田家住宅等	R8.4.1～R9.2.26	国見町	
7	継続2	○		移住・定住	やまきや魅力発信事業	川俣町	ソフト	1,650	1,237	川俣町山木屋地区は、高齢化が深刻かつ原発事故による避難指示の影響により人口減少が顕著な状況にある。そのため、関係地区団体と連携し、とんやの郷を舞台にイベントや地域の情報発信に取り組み、地区全体の賑わい創出を図ると同時に交流人口の増加と移住・定住による人口増加につなげる。 ①年2回(秋・冬)のイベントの開催 ②関係団体と連携した町・地区のPR	R8.4.1～R9.3.31	川俣町	
8	継続2	○		人づくり	川俣モノづくり活性化事業	川俣町	ソフト	4,150	3,112	町内にはモノづくり企業が多く立地するが、川俣高校の機械科の廃止や高校、大学卒業後に町外への就職などにより、地域の担い手不足が顕在化している。そのため、将来のモノづくりに関わる担い手である小中学生を中心に町内のモノづくり事業者の仕事内容を体験するイベントを開催し、人材の育成・確保につなげる。 ①川俣モノづくりお仕事体験イベントの開催 ②町内のモノづくり企業の情報発信	R8.4.1～R9.3.31	川俣町	
9	継続2	○		健康長寿	かわまたいきいき健康長寿プロジェクト	川俣町	ソフト	7,030	5,000	運動機会の減少により、町内の平均余命・自立期間は、国平均より低い状態となっている。そのため、幅広い世代の町民を対象に、健康講座やスポーツ教室等の健康事業を実施し、町民の健康寿命の延伸を図る。 ①かわまた元気フェスの開催 ②健康増進イベントの開催(スポーツ教室等) ③野菜摂取量測定(ベジチェック)を活用した町民への健康意識付け	R8.4.1～R9.3.31	川俣町	健康関連事業
累計					(県北地方振興局)	9件		67,142	39,124				